

清流を守る 誓い新たに



昨年、天皇皇后両陛下のご臨席のもと開催された「第30回全国豊かな海づくり大会」から1周年を記念して、関市文化会館で記念式典がありました。古田知事や尾藤市長をはじめ、大会に携わった子どもや関係者らが出席。天皇陛下が詠まれた和歌の石碑「御製

碑」と関市開催記念碑の除幕があり、児童が碑文を読み上げました。また、県内を流れる河川流域をループした回遊旗が整列する中、瀬尻小学校児童が大会の理念を継承し、一人一人が清流を大切に守っていく誓いを立て、改めて環境保全の大切さを思い起こしました。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



市の魅力を高める記念碑

旧市役所庁舎跡地「山ノ手ひろば」の北側に記念碑が完成し、地元商店街などの関係者が集まって除幕式を行いました。併せて、暑い時期などに人工的に霧を発生させ、水が液体から気体が変わるときに熱を奪って周囲の温度を下げる「ミストオブジェ」も完成披露されました。この碑が身近な歴史を語り、新たな憩いの場となって、更なる市街地の活性化に役立てます。

思い出の桜並木整備します

海づくり大会1周年記念式典に続いて、千疋大橋下流の長良川左岸にて、知事と市長らによる桜の記念植樹がありました。この大会を起点に清流長良川を守り伝える運動を推進していく中で、多くの市民が水環境に関心を持つ機会となりました。また、四季折々の美しい自然環境を創り出し、安らぎや憩いの場となる癒しの空間を整備していくため、この地区周辺がいっぱいの桜並木となるよう思いを込めました。





地域活動の課題を探る

事例発表を通して、民生委員らが抱える問題や悩みを共有し、解決への糸口を探る関市民生委員児童委員協議会第1グループ（安桜・瀬尻・倉知地区）の研修会が市役所で開かれました。「ふれあいサロン」の開催、独居老人や要介護者の見守り支援、防災マップの作成など、取り組みに対する課題を話し合いました。これからも市民に信頼していただけることに喜びを感じながら活動を続けていきます。

川を大切に、汚さないように

昨年の全国豊かな海づくり大会の理念を継承し、環境美化に取り組む県の「清流の国ぎふ」づくりの一環で、瀬尻小学校児童が長良川でカワゲラウオッチングをしました。県博物館学芸員の指導で、児童らは川の中に入り、たもを使って大きな石の裏に隠れている生物を捕まえました。調査の結果、カワゲラやヒラタカゲロウなどきれいな水を好む生物を確認し、水質がきれいであることに気づきました。



全国の選手 頑張りーや

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会とリハーサル大会の機運を高めるため、市内全11中学校の生徒が全国の選手らに向けて、応援メッセージやイラストを描いて歓迎する手作り応援のぼり旗を制作しています。武儀中学校では、全校生徒79人が各県の地理や特徴などを学習。その県の方言を使うなどして、思い思いに激励の言葉を書き入れています。のぼり旗は、9月のライフル射撃リハーサル大会の会場に飾る予定です。

水の大切さ学びました

水と人の生活のつながりについて楽しく学習する、住宅設備機器メーカーによる出前講座が博愛小学校であり、5年生児童が受講しました。水の循環を図解したすごろくを使い、自身が1滴の水となる疑似体験を通して、地球規模の水循環について考えたり、ワークシートを使って、トイレやシャワーで流す水の量を学び、水が貴重な資源であることを理解しました。



こぼれ話



夏の電力不足が懸念される中、サマータイムの導入など、節電を推進する事業所が増えています。

市役所では、クールビズのほか、庁舎内の蛍光灯を一部外して照明を落としたり、冷房を稼働させる基準を上げたりするなど、電力の消費を抑え、さらなる節電に努めているところです。

サマータイムとはちょっと違いますが、わかかさ・プラザの関市立図書館では、小・中学生の夏休み

期間に合わせ、図書館を利用しやすいように、次のとおり開館時間を延長します。

◆実施期間 7月20日(水)～8月31日(水)

◆開館時間 平日：午前9時30分～午後8時
土・日曜日：午前9時30分～午後6時

◆照会先 関市立図書館 ☎24-2529

休館日は、月曜日と図書整理日の第2金曜日(延長期間中は8月12日)なので、お間違えのないように。

節電の夏、図書館で本を読みながらゆっくり過ごすのもいいですね。